



Okazaki Motoo Quartet
岡崎資夫カルテット

'12/ **8/25(sat)**

Open PM6:30
Start PM7:30
Ticket 2,500yen

岡崎資夫(sax) 小関信也(pf) 本山二郎(b) 杉山大成(dr)

岡崎資夫 (おかざきもとお)

http://music.geocities.jp/jazzoka_jiji/index.html

吹く楽器が好きで◎ Alto Sax ○ Clarinet △ Tenor Sax ▽ Flute でかれこれ50年以上吹いているかな? (1992年 - 2000年7月迄の8年間は水道屋をやっていたが)
 1951年(?)国立音楽校で大橋幸夫氏にクラリネットを師事、52年頃からSax&Cluを持って東京駅に立ち回りで通勤するやうなモータールカバコ等の仕事(おれは、手や指が良いのべに学校を卒業するよりむしろSax&Cluの習得(當時はジャズから意識は余りなかった)演奏の世界にのめり込む。1980 - ヤマハリポートのまほに演奏拠点を移し 藤田広明(トイ)と共にニュージックサロンで演奏する傍ら、ライブハウスにてテスト役をかねて自己のカルテットに、Sax宮沢昭、渡辺貞夫Tp吉田厚二Piano世良暎、栗田文資、大谷和夫、Bass福富国光、橋本静雄、広瀬正之、池田秀武Drummer高田啓二Drum小津昌彦、宮後俊介、馬場たから、大石昌幸Vocal三条アツ子、三宅美由紀さん、進をゲストに迎えLiveで共演。
 1987 - 豊田市商工会館地下で食事の出来る小さなお店を開設
 2000年9月から老骨に鞭打ってライブ活動などに復帰してるので静岡県西部に住んでる老若男女の皆さん、機会があれば是非聞きて頂戴。



小関信也 (こせきしんや)

<http://www.shinyakoseki.com/>



1964年(昭和39年)、静岡県生まれ。
 静岡県立藤枝東高校卒業と同時に上京、R&Bやフュージョンのバンドに参加するうちに、次第にジャズに興味を持つようになり、独学でジャズピアノを習得。
 東京工業大学工学部卒業後、静岡に戻り、県西部を中心に、ジャズ・ピアニストとして幅広く演奏活動を行うようになる。
 1990年、浜松の名門ジャズオーケストラ「BLUENOTES」に参加。以後、10年以上にわたり、このバンドのレギュラーピアニストとして活躍しつつ、コンボでの活動も精力的に行う。2001年、小曽根真ワールドジャズに参加。
 ジャズが最も輝いていたと信じる1950年代のハードバップのスイング感、ブルース、歌心といった、伝統的な要素、精神を継承しつつも、現代的な要素とオリジナリティを程よくブレンドしたスタイルを目指している。

本山二郎 (もとやまじろう)

<http://jazzmad.net/>

岡山県倉敷市出身。
 10代からドラマーとして活躍、その後ベースに転向する。
 1967年上京後、間もなく渡辺文男トリオの初代ベーシストとして活躍。
 その後、自己グループを結成して幅広く活動し、数々の足跡を残しているが、1994年、渡辺文男グループに再び参加し、シンガポールでのジャズコンサート等にも出演している。
 1995年には3rdアルバム「ジャズ・ア・ラ・ヴィ」で浜松に同グループのメンバーとして出場し、郷間和雄、大田寛一、斎藤知也等と共に高い評価を得ている。
 レイ・ブライアント、ドナルド・ペイリー、ボビー・ジョー、ロイ・ハーグリーブ等々海外ミュージシャンとの共演も多いが、1996年のマルワオルドロンとのコンサートは好評であった。
 1999年にはCD「The Friends of Early Times」をリリースしている。
 ジャズドラマーの渡辺文男氏として「リズムの天才」と言われた、素晴らしい強力ビートを放つ、本格派ジャズベーシストである。
 現在、東京、神奈川、静岡、ツアー等を中心に演奏活動を行う。
 また、Be-bop, Hard-bop jazz project THE JAZZ MADを主催し、ジャズワークショップなどを通して、学生、アマチュア、プロ問わず、後進の育成にも力を入れている。



杉山大成 (すぎやまたいせい)

藤枝市在住。
 中部地方を中心にライブハウスなどで活躍中。
 豪快さと繊細さを合わせ持つそのプレーは歌心に溢れ聴くものを感動させる



お問い合わせ・チケット予約

Coffee&Live
Jazz in"b"

tel&fax 053-435-5644
 E-mail b-flat@nifty.com

〒431-3125浜松市東区半田山5丁目16-17

URL → <http://homepage2.nifty.com/b-flat/>

